

連
資格

AMDA昇格内定

国
協議

政策提言でできる「総合」へ

緊急医療支援のNGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市)が参加する国連各種委員会での協議資格が、これまでの「特殊」から政策提言でできる「総合」に昇格することが内定、5月の国連経済社会理事会(ECOSOC)で正式承認される見込みとなった。

た。「総合」の資格を持つ国内のNGOは4番目、医療団体では初めて。資格は同理事会が認定。AMDAによると、2004年末に起きたインドネシア・スマトラ島沖地震・津波での活動などで国際社会の評価が高まり、昨年6月に昇格を申請。菅波茂代表(59)が米国・ニューヨークで今年1月20日に行われた委員会でも活動を報告し、紛争地域での健康教育や社会開発、国連と連携した事業などが認められ、全会一致で内定が決まった。

菅波代表は「申請からこんなに早く決まるとは。国際社会での信用も高まり、活動の幅が広がる。他のNGOとの連携をさらに深めたい」と話している。

同理事会には協議資格が「総合」「特殊」「ロスタ1(参加)」の3段階あり、AMDAは1995年6月に「特殊」を取得した。